



令和8年3月5日

自治体初の認知症バリアフリー宣言 (静岡県初の認知症バリアフリー宣言の取組)



静岡県 健康福祉部 福祉長寿政策課 内田知康

生きがいと健康づくり
イメージキャラクター
「ちゃっぴー」 ©静岡県

「静岡県」という組織とは？ ①

職員数；
約6,900人



認知症バリアフリー宣言の背景 ①

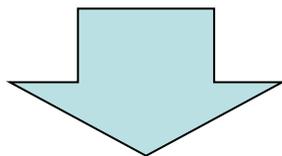
○認知症基本法（令和6年1月施行）

基本的施策の1つに「認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進」
（交通手段の確保、利用しやすい製品、サービスの開発等）

○認知施策推進基本計画（令和6年12月閣議決定）

2(1)認知症の人が自立して、かつ、安心して暮らすための、地域における生活支援体制の整備等

- 認知症バリアフリー宣言を始めとする地域の企業や公共機関等での認知症バリアフリーの取組の推進を支援する。



都道府県も、認知症バリアフリーの取組を進めていく必要あり

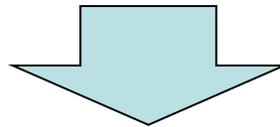
認知症バリアフリー宣言の背景 ②

○高齢者の約3割は認知症又は軽度認知障害
2040年には静岡県民の10人に1人は認知機能に
何らかの障害を持っている可能性も

○認知症による日常の様々な場面における
「バリア」が存在

例) 交通機関の利用、預金の引き出しや契約、
買い物の支払、行政の様々な手続き

65歳以上の高齢者における認知症の現状
(令和4年時点。政府広報オンラインより)



高齢者福祉部門だけでなく、**県の各部門が、**
認知症の人が地域の中で暮らしていることを前提として様々な
施策を展開するという認識を持つことが重要

認知症バリアフリー宣言の背景 ③

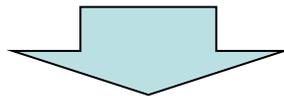
○経済団体や企業を訪問した際などの意見など

- ・認知症バリアフリー宣言をするメリットは？
- ・**県は認知症バリアフリー宣言をしてるの？**
- ・認知症バリアフリー交流会等を実施しても申し込みが・・・

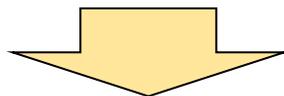


○県議会での質問（令和7年2月議会）

県民に対して認知症バリアフリーの考えを広めていくなら、**静岡県として認知症バリアフリー宣言をしっかりとリードしていく必要があるのでは？**



県が率先して宣言することで、認知症バリアフリーの考え方が市町をはじめ、民間企業、各種団体等に幅広く普及



こうしたことから

「静岡県」という組織としての「認知症バリアフリー宣言」へ⁶

静岡県の認知症バリアフリー宣言 ①

区分	宣言のポイント	静岡県の宣言概要
人材育成	認知症の当事者の立場の立った取組が行われるよう、従業員などに対して認知症についての正しい理解を促す	認知症サポーター養成講座等の実施
地域連携	地域の行政機関や専門機関、他企業、当事者などとの連携	見守り・SOS体制の広域連携 認知症に関する相談窓口設置
社内制度	介護のための離職防止や当事者が働き続けるなどの内部の環境づくり	介護休暇、在宅勤務、時短勤務等
環境整備	施設やホームページなどを認知症の方や家族が利用しやすい環境を整える	窓口での対応マニュアル作成 (R7下半期から試行。R8本格展開)

静岡県の認知症バリアフリー宣言 ②

○認知症サポーター養成講座の実施 【人材育成】

- ・新規採用職員全員に、初期研修の1つとして認知症サポーター養成講座を実施（平成25年度～）
- ・宣言を踏まえ、新規採用職員以外を対象とした養成講座も追加実施。
※令和7年度は、副知事、健康福祉部長も受講

○職員向けのシステムを活用した研修 【人材育成】

- ・職員向けのシステム内に「学びばこ」として、研修動画・資料を掲載できる仕組み
- ・「学びばこ」内に「認知症バリアフリーの学びばこ」として、基礎知識や認知症当事者の講演動画などを掲載して、各自が空き時間等を活用して受講してもらっています。



静岡県の認知症バリアフリー宣言 ③

○窓口での対応マニュアルの作成 【環境整備】

- ・ 日本認知症官民協議会で作成している手引きをベースに作成
- ・ 現在、一部の出先機関で試行中。令和8年度から本格展開
- ・ 具体的な場面の事例（突然怒り出すなど）も数例掲載

(R8.1.19)(R8.1.19)

認知機能の低下が見られる方々への 接 遇 心 得

健康福祉部 福祉長寿局 福祉長寿政策課

認知症とは？

脳の疾患により認知機能が低下し、日常生活に不具合が生じる状態のことを言います。年齢が高くなるほど有病率は高くなりますが、若年期(65歳未満)でかかる場合もあります。(若年性認知症)

厚生労働省の推計では、団塊の世代が後期高齢者となる2040年には、高齢者の3人に1人が認知症(予備率も含め)になると言われています！

- ・ 認知症を完全に予防する方法はなく、誰でも認知症になる可能性があります。
- ・ 脳の認知機能の低下により、「記憶障害」や「見当識障害」「判断力・理解力の低下」「実行機能障害」など、様々な症状が、長い時間をかけて少しずつ現れ進みます。

※ 現在の年月日やうける場所、人との関係などを把握できなくなる

認知症は、誰もがなり得るもの！

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

認知症になると特に、驚かされるのが苦手、急かされるのも苦手になります。認知症の人と接する際には、その点を心得ておくことが大切です。

そしてもちろん、本人の意志、自尊心を尊重する接し方を心がけることも必要です。

認知症の人への対応は…

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

が基本です。
(具体的なポイントは裏面へ)

具体的な対応の7つのポイント

(出典) 認知症バリアフリー社会実現のための手引き (日本認知症官民協議会)

1. まずは見守る
認知症と思われる人気づいたら、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、じろじろ見たりするのは禁物です。
声掛けや手助けが必要ときに、さりげなくするようにしましょう。
2. 余裕をもって笑顔で対応する
こちらが困惑や焦りを感じていると、認知症の人にも伝わって動揺させてしまいます。基本はほかの来庁者への対応と同じです。落ちついて、自然な笑顔で接しましょう。
3. 声をかけるときは1人で
複数で取り囲んで声をかけると、恐怖心をあおってしまいます。恐怖心は強いストレスになり、精神的に不安定な状態を招きます。可能な限り1人で声をかけます。
4. 後ろから声をかけない
唐突な声かけは禁物です。とくに背後から突然声をかけられると、驚いて混乱してしまうことがあります。一定の距離までゆっくり近づいて、本人の視野にはいったところで、声をかけます。例えば、「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいましたか」「こちらでゆっくりしませんか」など。
5. やさしい口調で
高圧的な態度や口調は、認知症の人に「こわい」「嫌い」という印象を強く与えます。「この人はこわい人」「嫌な人」という感情だけが残り、そのあとのコミュニケーションがとりづらくなります。目の高さを本人と合わせ、やさしい口調で対応しましょう。
6. おだやかに、はっきりした口調で
耳が聞こえにくい人もいます。難しい言葉を分かりやすい表現に言い換えるなど配慮し、ゆっくり、はっきり話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてるのは禁物です。その土地の方言でコミュニケーションをとることも、本人に安心感を与える効果があります。
7. 本人の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する
認知症の人は、せかされるのが苦手です。一度に複数の問いに答えることも苦手です。混乱してパニックになってしまうことがあるので、本人のペースに合わせるのが大切です。会話をするときには、ひとことずつ短く簡潔に伝え、答えを待ち、確認しながら次の言葉を発しましょう。先回りして「つまり〇〇ですね」と結論を急がず、ゆっくり聞き、何をしたいのかを話し手の言葉を使って確認していくようにします。

認知症バリアフリー宣言のロゴマーク活用



- 認知症バリアフリー宣言の
ロゴマーク入り名刺
※副知事や部長分も作成

○ロゴマークを関係部署に掲示

認知症の当事者の方も働いてる
工房で、県の窓口用に量産中
※これは自体は、職員手製のデモ品



静岡県の認知症関連の特徴的な取組

認知症の人と家族の会静岡地区会つどい（通称：ぴあ～の会）
を県庁内の喫茶店で開催。

- 令和7年9月から開始
- 毎月第2木曜日午前で開催
- 県庁東館2階喫茶ぴあ～にて
- 1ドリンク制
- 参加者は10～20人ぐらい
※県職員も毎回参加



「認知症バリアフリー宣言」してみませんか？

この「認知症バリアフリー宣言」は、
日本認知症官民協議会が進めている取り組みです！

- ①認知症バリアフリーの考え方を
幅広く普及させるためにも、
まずは、それぞれの団体が宣言
してみてもは？
- ②各団体の構成員に、認知症バリアフ
リー宣言実施の呼びかけ

